

令和8年4月17日

松江市議会議長 野々内 誠 様

会 派 名 日本共産党松江市議団

経理責任者名 たちばな ふみ

令和7年度政務活動費収支報告について

松江市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和7年度政務活動費収支報告書

会派名 日本共産党松江市議団

1 収 入

政務活動費 495,000円

2 支 出

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
研 究 研 修 費		
調 査 費		
旅 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
広 報 費	434,111円	
広 聴 費		
合 計	434,111円	

3 残 額 60,889円

令和7年度 政務活動費使用簿 (会派)

管理番号	1		
使途項目	広報費		
使途内容	広報費 (市議団ニュース印刷代及び折込料)		
調査年月日 (購入年月日)	令和8年3月23日 (月) ~ 令和8年3月25日 (水)		
政務活動費 支出額及び充当額	【項目別支出内訳】	支出額	(うち政務活動費充当額)
	研究研修費	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	調査費	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	旅費	円	円
・	円	円	
・	円	円	
・	円	円	
・	円	円	
□資料作成費	印刷代 184,070 円	157,471 円	
□資料購入費	折込料 323,367 円	276,640 円	
・	円	円	
■広報費	円	円	
・	円	円	
□広聴費	円	円	
合計額	507,437 円	434,111 円	
備考	按分率85.55%		

(注意)  
 研究研修費、調査費、旅費、広報費 (広報活動)、広聴費 (意見聴取会) 等に係る経費の場合、備考欄に参加議員名を記入すること

会派名 【日本共産党松江市議団】

# 領収書

2026年03月23日

日本共産党松江市議団 御中 たちばな ふみ 様

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。  
下記の金額正に領収いたしました。  
何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社プリントパック

〒617-0003

京都府向日市森本町野田3

TEL 0120-977-920

FAX 075-935-6890

お支払条件 クレジットカード

納品場所 ご指定場所

御請求金額 184,070円 (税込)

納品期日 2営業日

ご注文番号	内 容	数量	単 価	金 額
	品名：市議団議会報告2025年度 B4 / 両面4色 / コート73 / 63,000部×1種類 / 加工1：トンボ仕上がり断裁 (ご注文サイズでお納め) 加工2：	1	184,070	184,070
合 計				184,070

## 特記事項

- ※クレジットカード決済の場合には、金銭または有価証券の受領事実がありませんので、表題が「領収書」となっていますが、印紙税法基本通達第17号の1文書には該当しません。
- ※5万円を超えていても収入印紙は貼付されません。

領収書貼付用紙

使 途	広報（市議団ニュース 新聞折込料）
【貼付欄】	

No.032626-1043

2026年 3月 25日

領 収 書

日本共産党松江市議会議員団 様

金額 ￥323,367-

但 折込料 3/29

内訳

税率	税抜合計	293,970
10%	消費税額	29,397
税率	税抜合計	
8%	消費税額	

上記金額正に領収いたしました。

現金  小切手  相殺  振込



〒690-0047 島根県松江市

TEL 0852-25-4008 FAX 0852-25-4009

登録番号 T528000100075

受領者印



(注意)

- この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。（ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。）
- 領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

会派名 【日本共産党松江市議団】

令和8年3月発行 共産党市議団 会報 按分率積算

(単位：cm)

【全体】	縦		横		
片面	29.7	×	21	=	623.7
全面	623.7	×	2	=	1247.4

面

ア

【除外】	縦		横		
A	6.7	×	9	=	60.3
B	5.5	×	4.2	=	23.1
C	5.5	×	17.6	=	96.8
		×		=	0
		×		=	0
		×		=	0
除外計					180.2

イ

対象計 (ア-イ)	1067.2
按分率 (ウ/ア：単位%)	85.55%
参考：除外分 (会派負担分) 按分率 (100-エ)	14.45%

ウ

エ

【積算】

項目	事業者	請求額	政務活動費 充当分 (85.55%)	対象外 (14.45%)
印刷費	(株)プリントパック	184,070	157,471	26,599
折込料	山陰中央新報 S C	323,367	276,640	46,727
計		507,437	434,111	73,326

# 市民の命 くらし まもる

## 原発のない安全安心の松江へ

昨年4月の松江市議会議員選挙で日本共産党は新人2名、現職1名の3議席を得させていただき、日本共産党松江市議会議員団（略称：共産党市議団）を3名の議員で結成しました。交渉会派となり、議案提案権をもち、議会運営委員会に参加することができるようになりました。

3名で力を合わせ、市民の皆さんの暮らしの困りごとに寄り添い、その願い、声を政治へ届けてまいります。

くらし・福祉・教育が大切にされる、原発のない、安全安全で、ジェンダー平等、人権かがやく松江をめざして引き続きがんばります。

日本共産党松江市議団  
団長 たちばな ふみ



A=6.7×9

### 水道料金値上げやめよ



小塚上下水道局長、藤原総務部長へ申し入れる市議団

松江市が水道料金の平均 26% の値上げを計画していることを受け、日本共産党松江市議団は5月に市民団体にも呼びかけ説明会を開催。「物価高騰の中大幅値上げ許されない」と6月議会、9月議会、12月議会代表質問で取り上げ論戦してきました。松江市議団は10月市に対し、値上げを断念するよう申し入れも行いました。

たちばな団長は「昨年度700件の給水停止が実施されている」と

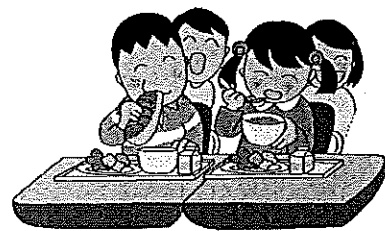
指摘し▽憲法、水道法に基づき低廉な価格にする、▽一般会計等から水道会計への繰入金を大幅に増やす▽県に県営水道料金(受水費)の引き下げを求める、▽低所得者へ福祉制度導入などを訴えました。市民団体が水道料金値上げ中止を求め緊急の署名運動も展開し1688名分の署名を提出しました。10月からの値上げは決まりましたが、引き続き「命の水止めるな」「水道は福祉」と訴えていきます。

### 学校給食費無償化を議案提案しました

3名の議員団となり、議案提案権を活用し、議員提案として「小中学校の学校給食無償化を求める意見書」を昨年12月議会に提案しました。全国の給食無償化を求める運動と議会論戦で全国の4割の自治体で無償化され、政府は2025年2月に、2026年度小学校から無償化する方針を閣議決定しました。しかしその後、児童1人あたり月5200円を公費で支援し、それを超える場合は、保護者の負担を残すことを可能とする方針となりました。党市議団は「そもそもの無償化の目的である「保護者負担」が置き去りに

されかねない」として「改めて国の責任で小中学校の給食費無償化を」と意見書案を提案しました。

党市議団3名以外の27名の反対で否決されました。松江市は保護者負担を残す予算となっています。今後も無償化を求めています。



### 震度5強の大地震 すく調査

最大震度5強を観測した1月6日の地震で、共産党市議団は、大平よしのが元衆院議員、原発ゼロの会の山崎泰子共同代表と共に被害状況の現地調査を行い、島根原発から5キロ圏内の鹿島町と島根町の住民から話を聞きました。「原発に何かあれば外に逃げて放射線被害で死ぬか、家にいてつぶされて死ぬかだと頭をよぎった」などの声。「地震大国に原発ムリ」の声を広げる必要があると確信しました。

# 命、暮らし、人権まもる松江市へ 共産党市議団の議会論戦

交渉会派となり、毎議会代表質問を行うことができるようになりました。代表質問ははじめ一般質問の項目を紹介します。命、暮らし、人権まもる松江市への思いで原発問題をはじめ、物価高から暮らしまもれと多彩な要望を届けています。医療、介護、保育といったケアを担う職場の要望を毎議会届けると共に現場の方と行政との懇談も行っています。質問の一部を紹介します。ぜひ動画配信もごらんください。

## 原発推進やめ島根原発ストップを

地震大国である日本のどこにも原発を安全に動かせる場所はありません。党市議団は毎議会原発問題を取り上げ、松江市の原発政策を追及しています。松江市は、2022年に島根原発2号機の再稼働を容認、2025年1月から2号機が再稼働しています。そして再稼働後も燃料棒転倒、機器トラブル、度重なる火災、燃料プール停止などトラブルが相次いでいます。また浜岡原発審査における中部電力のデータ捏造は、「世界一厳格な規制基準」で審査する規制庁が不正を見抜けないという現実をつきつけました。福島第一原発以降にできた「新規制基準」での審査に対し市民の信頼は失墜しました。福島事故後、放射能で汚染された地域にはいまだ帰れません。穴道断層と鳥取沖合断層の連動制や、ひずみ集中帯が指摘され大地震の危険性があるこの山陰で、原子力発電所を稼働するのは住民の命を軽視するものです。島根原発ストップの声を市政に届け、今後も市民と共にその声を上げていきます。

## 子どもの権利かがやく松江市へ

子どもの権利が大切にされ、制服や校則、性教育など児童生徒の多様性に配慮できる学校づくりを求め、トイレの改修や生理用品を学校トイレに置くことなどを要望し実現してきました。お金の心配なく学べるよう就学支援制度の周知や拡充、学校給食費無償化を求め議会で取り上げると共に、民主団体と要望活動を続けています。そして子どもの権利が尊重されるには、教職員が大切にされる職場環境が必要だと訴え、教員不足の解消へ、教員の残業見直しなど働き方改革の推進、学力テストの廃止、スクールソーシャルワーカーなど福祉の専門家配置の拡充が必要と議会論戦しています。

子どもたちの声、先生方の声を届け、引き続きがんばります。



## だれ一人取り残さない地域公共交通

松江市は運転手不足などを背景に減便やバス停の廃止などを行っています。2026年度からは運賃改定を行い市民負担増となりました。党市議団は、負担増で利用を控える懸念があると指摘し何度も議会で追及し、国交省が公共交通への支出は「地域を支えるための支出」だと示し「地域公共交通は、高齢者の外出機会が増えることで高齢者の健康増進や就労機会が増加し、医療費や社会保障費が削減され、むしろ社会全体としての費用負担が下がる」などと示していると指摘しました。また、通学定期の負担増について「子育て支援が後退することは松江市の施策子育て日本一に逆行する」と支援継続を訴えました。コミュニティバスやAIデマンドバスも運賃改定で軒並み値上げとなっており、誰一人取り残さないよう負担増をやめよう市民の願いを届けました。

## 加齢性難聴・補聴器助成 実現しました

松江市は「年を重ねるほど楽しい松江」を目標に掲げています。加齢性難聴への助成は、痴ほうの予防や地域とつながりあって生活するために欠かせないと、全国でも島根でも広がりつつあり松江市での実現を議会で繰り返し求めてきました。6月議会でも代表質問で「加齢性難聴への支援待ったなし」と迫りました。市民団体も毎年要望を重ね、市は昨年から耳鼻咽喉科学会と共同して制度を検討、2026年度からの制度開始が発表されました。年齢制限がないことは他市に比べて工夫された点ではありますが、金額は2万5千円、非課税世帯・生活保護世帯のみという枠組みがあり、制度の拡充を今後も求めていく必要があります。



- 6月議会
1. 高市政権による軍拡 命を守る政治を
  2. 大地震 防災減災、老朽化対策
  3. 浜岡原発で不正 原子力規制庁の審査は
  4. 島根原発のプルサーマルについて
  5. 中海産サルボウ(赤貝)生産支援を
  6. 学校給食費の無償化について

- 9月議会
1. 戦後・被ばく80年 憲法生かす平和な松江
  2. スポーツ振興と暴力の根絶
  3. 猛暑対策：市民生活支援は
  4. ことも誰でも通園制度
  5. 島根原発 福島事故の教訓は
  6. 水道料金値上げ市長の政治姿勢を問う
- 12月議会
1. 高市政権・台湾発言、労働時間規制緩和
  2. いじめ不登校と教員の働き方
  3. 島根原発で 燃料棒検査中に事故
  4. 誰ひとり取り残さない地域公共交通を
  5. 中海と特産品の振興
  6. 松江市の火災予防
  7. 水道料金市民負担増やめよ

- 6月議会
1. 市民の暮らしを支える松江市へ
  2. 「又問題、水道料金 就学援助 給食費
  3. シェンダー平等の松江市へ
  4. 子どもの権利尊重する学校づくりを
  5. 歳を重ねるほど楽しい松江、高齢者福祉
  6. 島根原発はストップを



1. 国民健康保険について
2. 「無料低額診療事業」について
3. 松江市の医療について
4. 介護施設の現状について
5. 松江市のフードバンク、子ども食堂の現状と利用するその背景について
6. 国民健康保険料未納者への差し押さえ
7. 生活保護について
8. 歯科医療体制と市民の口腔健康
9. 介護保険未納者への対応
10. 防災対策について
11. 島根原発の問題について



1. 看護師不足について
2. 介護保険制度と介護の労働環境改善
3. マイナ保険証と健康保険証の発行停止
4. 地域公共交通に積極的な支援強化を
5. ため池問題について
6. 原発稼働停止を求め
7. 不登校支援について
8. 農業支援について
9. 介護保険制度について
10. 訪問看護の現状と問題点について
11. 生活道路等の改善について